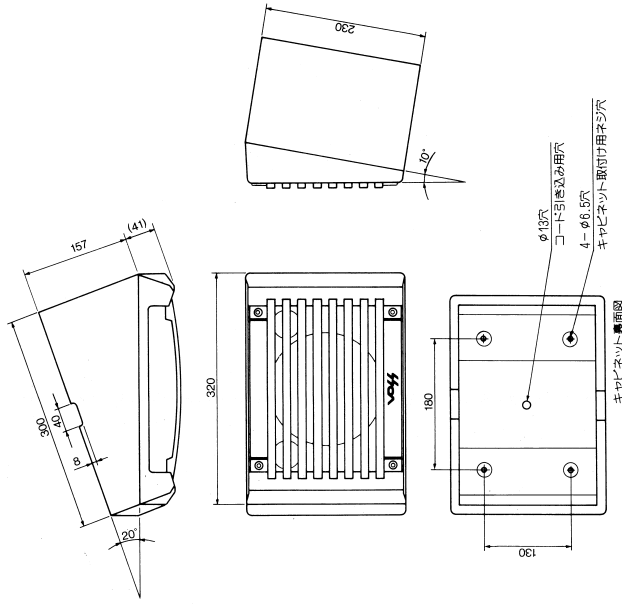


仕様

③ L級 非常用放送設備委員会認定品 (カッツプリングトランスPS-T230使用時)

スピーカーユニット：2WAY同軸型×1	外形寸法：幅300×高さ230×奥行188mm
高音用：25mmドーム型+ホーン	重量：6kg
低音用：16cmコーン型	バツフル材質：ポリスチレン
定 格 入 力：70W (RMS)	キャビネット材質：合板t=12mm
最大入力：140W (連続プログラム)	仕 上 げ：タークグレー塗装
出力音圧レベル：92dB/W (1m)	(マンセルL1.5Y2.5/0.25近似)
再生周波数帯域：70Hz~20kHz	設 置 方 法：バツフルを取りはずし、キャビネットを壁面に直接取り付け
入力インピーダンス：8Ω	適合トランス：PS-T230 (別売り)
クロスオーバー周波数：3kHz	
入 力 端 子：アンプ用ターミナル	



※本機の規格および外觀は、改善のため予告なく変更することがあります。

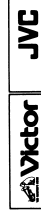
保証とアフターサービスについて

- この商品には保証書を添付しています。保証書はお買上げ販売店でお渡し致しますので、所定事項の記入、および記載内容をご確認のうえ大切に保存してください。
- 保証期間はお買上げの日より1年間です。保証書記載の内容により、お買上げ販売店が修理いたします。その他詳細は保証書をご覧ください。
- そのほかアフターサービスについてご不明の点は、お買上げの販売店または別紙（ビクターサービス窓口案内）をご覧のうえ最寄りのサービス窓口にご相談ください。



お客様ご相談センター

〒113-0033 東京都文京区本郷三丁目14番7号ビクター本郷ビル 電話(03)5664-9371
〒543-0028 大阪府天王寺区小橋町10番16号大阪ビクタービル 電話(06)5705-4161
システム事業部
〒102-8620 東京都八王子市石川町2969番地2号 電話(0426)60-7243(ダイヤルイン)
SS96689-003



日本ビクター株式会社

取扱設置説明書

先進の個性

Victor

PS-S511

スピーカーシステム

—お買いあげありがとうございます—
ご使用前にこの「取扱設置説明書」をよくお読みの上、
正しくお使いください。
お読みになつたあとは大切に保管してください。



私たちは環境・資源を大切にしています。
この取扱設置説明書はエコマーク認定の再生紙（古紙100%）
を使用しています。

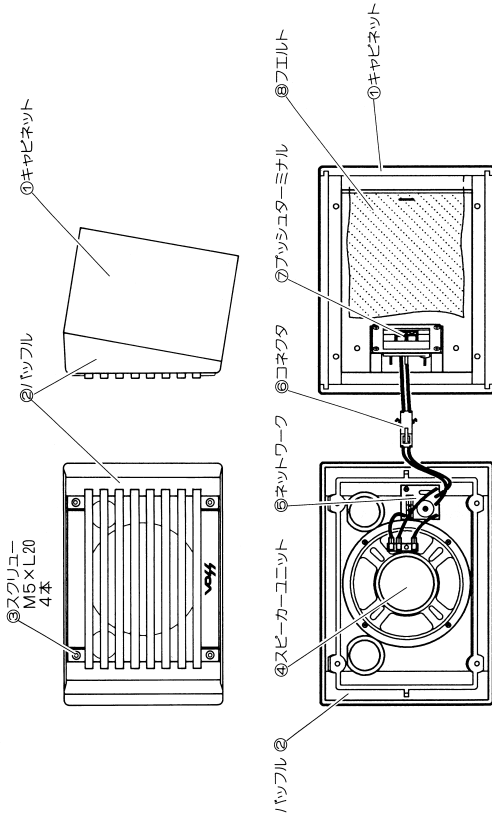
victor

Victor Original Sound System の総代理店オーディオ機器の登録販売者です。

特長

- このスピーカーは、体育館のサブスピーカーとして使用することを目的として開発した、防球壁型タイプのスピーカーシステムです。
- スピーカーキャビネットを壁面に直接取り付け方式により、取付金具を使用せずに堅牢な設置が可能です。
- スピーカーバツフル面が後ろに20°、下向きに10°傾斜していますので、側壁面への直接取り付けで、サブスピーカーとして理想的な音放射角度が保たれます。
- バツフルをはずし、キャビネットを上下逆にするにより、左側壁用、又は右側壁用となり、音像定位に優れたコンパクトなスピーカーシステムです。
- 16cmウーハーと25mmドームツイーター+ショートホーンの2WAY同軸型スピーカーを採用した、音像定位に優れたコンパクトなスピーカーシステムです。
- 本体に内蔵できるカッツプリングトランスPS-T230 (別売) を取付けることにより100Vライン用スピーカーとしてご使用できます。

各部の名称



設置と接続方法

1. スクリュー③4本をはずし、コードのコネクタ⑥を抜き、バッフル②をキャビネット③から取りはずします。
 2. フェルト⑧を右図の様にめくり上げ、スピーカーコードをコード穴⑨よりキャビネット内へ引き入れ、キャビネット④を壁面にネジ等で取付けます。(キャビネットの向きはスピーカーが後方へ向く様に取付けます。)
 3. フッシュコンピュータミナルの⑩側(赤端子)にアンプ出力の④側を、⑪側(黒端子)にアンプ出力の⑤側を接続し、コードクランプ⑩で固定します。
 4. めくり上げたフェルト⑧を元に戻します。
 5. はずしたコネクタ⑥を接続し、バッフル②をキャビネット③にスクリュー③4本で取付けます。
- このスピーカーは天井面への取付けもできますが、その場合はキャビネットの上面に取付け用のネジ穴をあけてください。又、キャビネット上面の面積は小さくさいので、取付け方法は、使用するネジ、ネジ位置には充分注意して、取付けの強度を確保してください。
- ご注意**
1. スピーカーを複数個並列接続する場合は、その合成インピーダンスがパワーアンプの許容負荷インピーダンス以下にならないようご注意ください。(PS-S611のインピーダンスは8Ωです。)
 2. 2台以上のスピーカーを同一室内で使用する場合は、必ず⑥、⑦の極性を合わせて接続してください。

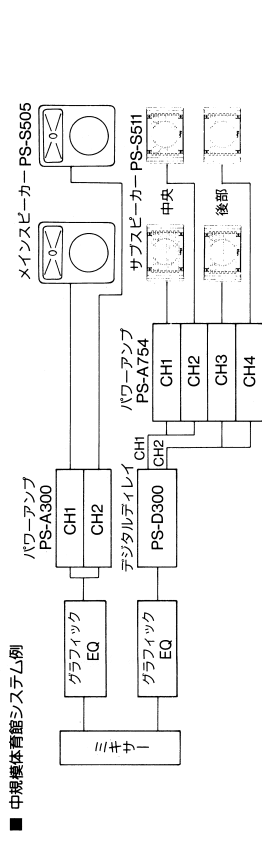
設置上のご注意

- スピーカーは重量に充分耐えられる構造材質のところに取付けてください。構造的に弱い場合は、補強材をあてるなどして充分に補強してください。
- スピーカーを大音量で鳴らすと、壁や天井などの構造によっては振動して音質を損ねる場合がありますので、壁や天井を補強し、振動の発生を改善してください。
- 取付け場所の強度不十分、取付け方法の不備による落下などの事故に対する責任は負いません。

保護回路について

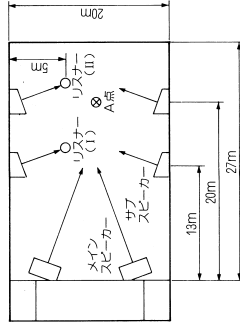
- 高音域の過大入力(ハウリングなど)が加わりますと、スピーカーに内蔵されている保護回路が動作し高音域の信号を遮断します。この場合、保護回路は5~10秒後に自動復帰しますので、音量を下げ、適正電力が入力されるよう音量を調整してください。

代表システム例

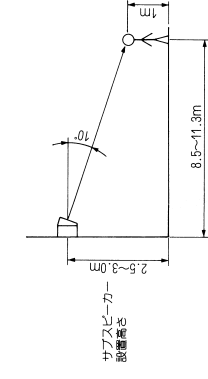


スピーカー配置例

- 中規模体育館スピーカー配置例

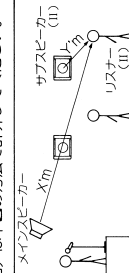


- サブスピーカー設置高さ例



ディレイタイムの計算方法

- サブスピーカーの入力電圧を、メインスピーカーの入力電圧より遅延させることにより、音をメインスピーカーの方向(前方)へ定位させることができます。



- サブスピーカー(1)のディレイタイムの計算方法

1. リスナー(1)からのメインスピーカーとサブスピーカー(1)の距離差Z_mを出します。
 $X_m - Y_m = Z_m$
 2. 距離差Z_mに音の伝達時間3mSec/mを掛けます。
 $Z_m \times 3mSec/m = 3 \cdot Z_mSec$
 3. 音の方向感を増すために10~15mSecを加えるとサブスピーカー(1)のディレイタイムが求まります。
サブスピーカー(1)のディレイタイム=3・Z_mSec+15mSec
- サブスピーカー(1)のディレイタイムの計算方法
1. リスナー(1)からのメインスピーカーとサブスピーカー(1)の距離差Z_mを出し、上記のZ_mにZ_mを代入します。
 $X_m - Y_m = Z_m$

- サブスピーカー(1)のディレイタイム=3・Z_mSec+15mSec
- * 音を前方へ定位させるにはディレイタイムの他にサブスピーカーの音圧設定も大切です。A点(上記スピーカー配置例の図面参照)でのサブスピーカーの音圧をメインスピーカーの音圧より6~10dB低く設定してください。